

2024年度後期

提出書類作成 手引き

日本学生支援機構奨学金

在学採用大学院生用

奨学金提出チェックリスト

奨学金提出書類チェックリスト
(日本学生支援機構奨学金「在学採用」手続き【大学院】)

※受付日(大学記入欄)

学籍番号: _____ 氏名: _____
所属: _____ 携帯電話番号: _____

【提出物】	
<input type="checkbox"/> 提出物チェックリスト	このリストをもとに書類チェックし、他の書類と一緒に提出
<input type="checkbox"/> 日本学生支援機構奨学金申込者票	
<input type="checkbox"/> スカラネット下書き用紙	申請する奨学金用のスカラネット下書き用紙に記入。 振込口座情報(通帳のコピー等)を貼付。
<input type="checkbox"/> 確認書兼個人情報の取扱いに関する同意書	
<input type="checkbox"/> 収入計算書	貸与奨学金案内 P.26~をよく確認してください。
<input type="checkbox"/> 収入に関する証明書(申請者本人・配偶者)	収入計算書に記載した金額と一致しているか確認してください。 収入計算書に記入したすべての収入額の証明書類(日本学生支援機構奨学金含む)が揃っているか確認してください。
<input type="checkbox"/> 学業成績証明書(原本)	・修士・博士前期課程および専門職学位課程の1年次は出身大学等の成績証明書 ・博士後期課程の1年次は修士・博士前期課程等の成績証明書
<input type="checkbox"/> 在留資格・在留期間が明記されている証明書	外国籍の者 ・在留カード(コピー)、特別永住者証明書(コピー)、住民票の写し(原本)のいずれか1点を提出

【全員】	
<input type="checkbox"/>	スカラネット(インターネット)入力しました

必要書類をすべて整えて、期限までに提出すること。
※郵送する場合は、郵便記録が残る方法(簡易書留・レターパック等)で送付すること。

全員記入

書類を提出する前にチェックリストで確認してください。
記入漏れや不備がある場合は受付しません。

全員記入

該当者のみ提出する書類については該当欄にチェック

スカラネットを入力し、スカラネット入力下書き用紙に受付番号を記入

日本学生支援機構奨学金申込者票

日本学生支援機構奨学金申込者票【大学院】

申 込 日 (西暦) 年 月 日

研 究 科 名 研究科 課程 専攻 年次
(令和4年3月茨城大学卒業者は、学部及び学生番号 学部 学生番号)

申 込 者 氏 名 学 生 番 号

連絡先(携帯) (自宅電話)
※申請書類の不備等または聞き取りが必要な場合、大学から電話をかけることがあります

次の中から希望する申込区分番号に○を付けてください。
※スカラネットで申請した申込情報となります。

- (a)「第一種」又は「第二種」のどちらかを希望する者
1. 「第一種」のみ希望します。
 2. 「第一種」を希望するが、不採用の場合「第二種」を希望します。
 3. 「第二種」のみ希望します。
- (b)併用貸与を希望する者
4. 「第一種」及び「第二種」との併用貸与を希望します。
 5. 併用貸与を希望するが、不採用の場合「第一種」のみ希望します。
 6. 併用貸与不採用及び「第一種」不採用の場合、「第二種」を希望します。
 7. 併用貸与不採用の場合、「第二種」のみ希望します。
- (c)現在奨学金の貸与を受けている者
8. 「第二種」の貸与を受けていますが、「第一種」への変更を希望します。
 9. 「第一種」の貸与を受けていますが、「第二種」への変更を希望します。
 10. 「第一種」の貸与を受けていますが、併用貸与への変更を希望します。
 11. 「第二種」の貸与を受けていますが、併用貸与への変更を希望します。
 13. 「第一種」の貸与を受けていますが、併用貸与への変更を希望します。
併用貸与不採用の場合、「第二種」への変更を希望します。
 14. 「第二種」の貸与を受けていますが、併用貸与への変更を希望します。
併用貸与不採用の場合、「第一種」への変更を希望します。

※12は欠番です。

上記8、9、10、11、13、14を選択した者は、現在貸与中の奨学生番号を記入してください。

奨学生番号

《記入のポイント》

全員記入

全員記入

希望する申込区分番号に○を付ける
必ずスカラネット入力で申請した情報と一致させる

確認書兼個人情報情報の取扱いに関する同意書

コピーして使用する場合は、必ず裏面の約款も両面コピーしたものを使用してください。

提出用

(貸与奨学金) 確認書兼個人情報情報の取扱いに関する同意書

(大学院)

(西暦) 年 月 日

独立行政法人

日本学生支援機構理事長 殿

私は、独立行政法人日本学生支援機構（以下「機構」という）の奨学金の貸与を受けるにあたり、インターネットによる奨学金の申込みの入力内容又は奨学金案内の記載内容及び以下に記載の貸与申込みの条件、個人情報情報の取扱いに関する各同意事項、機構の諸規程並びに裏面に記載の事項について、確認し、同意のうえ、返還することを締約し、本確認書兼個人情報情報の取扱いに関する同意書を提出します。また、機構に提出した個人番号については、裏面記載の範囲で機構が利用することに同意します。機関保証を受ける場合には、保証機関（公益財団法人日本国際教育支援協会）に支払うべき保証料は、機構が奨学金の交付の際にあらかじめ貸与金額から差し引いて支払うこととしてください。

学 校 名	学部・課程・分科	学科・専攻・研究科	学 期(学生証)番号
本 学 校 の 種 別	大学(学部)・大学院・短期大学 専修専門学校・専修学校専門課程	専攻番号(自治) ()	()
人 員 の 種 別	在 籍 生	在籍番号(自治) ()	()
生 年 月 日	期別・平仮	年 月 日	性別(任意) 男・女
国籍又は住居資格	a 日本国籍	b 特定特別永住者	c 永住者
【該当するものを記入】	d 定住者(在住の事実がある者に限る)	e 日本人の配偶者等	f 永住者の配偶者等
	g d~fの該当者は在籍期間(在籍期間の満了日)を記入()年()月		

【個人情報保護法第17条第2項】 機構は、個人情報保護法への登録及び利用は、記録した場合は行いません。

1. 私は、奨学金の申込みが承認された後は、下記の個人情報（その複製を含む）が機構が管理する個人情報データベースに登録され、同機関及び同機関と提携する個人情報処理機関の加盟会員によって自らの身元取引上の判断（返済能力又は返還力の調査をいう。ただし、返済能力に関する情報は返済能力の調査の目的に限る）のために利用されることに同意します。また、私は、承認された後は、機構が管理する個人情報データベース（同機関と提携する個人情報処理機関に私の個人情報を（当該各機関の加盟会員によって登録される契約内容、返済状況等の情報のほか、当該各機関によって登録される履歴情報、審査等の履歴情報を含む））に登録されている場合には、機構がそれを情報管理（新設の加盟を含む）のために利用することに同意します。

個人情報	登録期間
氏名、生年月日、性別、住所、連絡先(電話番号を含む)、電話番号、勤務先等の本人情報	上記の情報のいずれかが変更されたとき
貸与金額、貸与日、返済計画(貸与の内容及びその返済状況(返済、滞り返済、強制返済)等)、返済計画、滞り返済の手続き、滞り返済の発生を含む)の履歴	返済完了から本奨学金滞り返済完了日(返済していない場合は返済日)から5年間を過ぎない期間
機構が管理する個人情報データベース(上記)及び本奨学金以外の申込みの履歴	当該利用日から1年間を過ぎない期間
本奨学金	第一期日本学生支援機構から6ヶ月を超えない期間、第二期日本学生支援機構から5年間を過ぎない期間
滞り返済の履歴	滞り返済の発生を受けた日から2年間を過ぎない期間
返済滞りに関する連絡を受け調査中である旨の履歴	当該調査中の期間
本人確認資料の提供・送達等の本人情報の履歴	本人から申告があった日から5年間を過ぎない期間

2. 私は、前項の個人情報が、その正確性・最新性維持、正確複製、個人情報データベースの構築、個人情報データベースの構築、個人情報データベースの構築と適正な利用の確保のために必要な範囲において、個人情報データベース及びその加盟会員によって相互に提供又は利用されることに同意します。

3. 前2項に規定する個人情報データベースは次のとおりです。各機関の加盟資格、会員名等は各機関のホームページに掲載されています。なお、個人情報データベースに登録されている情報の開示は、各機関が行います（開示はできません）。

① 機構が管理する個人情報データベース 全国銀行個人保証センター <https://www.zangijyo.or.jp/pcc/>
 ② 同機関と提携する個人情報処理機関
 ・ 財団法人学生支援機構 <https://www.jicj.co.jp> ・ 財団法人アイ・シー <https://www.ics.co.jp>
 (代位弁済者の情報提供利用について)

4. 私は、機構に対し、私が保証料を支払った後から機構が貸与済後の返済の滞りを管理し、これを個人情報データベースに登録し、その管理が個人情報データベースに登録されることに同意します。

左記の個人情報保護法は、本書面の書き方を念め、奨学金に関する同意書にはお答えできません。

ご記入いただいた情報及びあなたの奨学金に関する情報は、奨学金貸与審査（返還審査を含む）のために利用されます。この利用目的の適正な範囲内において、返還情報（返還の進捗状況に関する情報を含む）、貸与、金融機関、文部科学省及び日本学生支援機構に必要に応じて提供されます。その他の目的には利用されません。機構保証加入者については、機構が保有する個人データの適切な管理に必要な情報が保証機関に提供されます。また、行政機関及び公益法人等から奨学金の貸与受給の停止等のために調査があった場合は、適正な範囲においてあなたの情報が提供されます。

確認書兼同意書は本人控としてコピーを取り、返還誓約書を提出するまで大切に保管してください。

学校番号

《貸与奨学金申請者は全員提出》

- ①必ず学生本人が記入すること
代筆不可！
- ②黒ボールペンで記入すること
消せるボールペン不可！！
- ③住所は現住所(現在住んでいる住所)を記入すること
- ④記入を誤った場合は誤った箇所を二重線で訂正し、
近くに正しく記入すること
修正テープ、修正液の使用不可！！！！

様式は大学窓口で配付された『貸与奨学金案内』(紫色の冊子)に挟まっているので、切り取って記入

学校番号は記入不要

スカラネット入力下書き用紙

特に注意する点を示しています。
すべての項目を確認し、記入が必要なところはすべて記載のうえ、入力すること。

※下書き用紙に表示している内容は2024年1月現在のものであり、実際の表示とは異なる場合があります※

**2024年度
スカラネット入力下書き用紙**
(大学院・法科大学院)
独立行政法人 日本学生支援機構

インターネットによる奨学金申込み（スカラネット）にあたっては、「貸与奨学金案内」を熟読し、申込内容を決めてください。
「奨学金案内」31～32ページを参照してこの下書き用紙に記入し、間違いがないか確認のうえ、所属する機関のスカラネット用ホームページにアクセスして入力してください。入力が完了すると画面に「送信」ボタンが表示されますので、内容を再確認し、画面を印刷するなどして、保管してから「送信」ボタンを押した後に内容を訂正することはできません。

氏名	学籍番号	研究科の専攻のコード
受付番号		

【スカラネット入力の際に、手元に用意する書類】
以下の2点は、必ず手元に用意してください。
・学校から受け取った識別番号（ユーザIDとパスワード）
・奨学金振込口座（本人名義）の通帳などのコピー（本冊子11ページに貼り付けてください）
・（返還免除内定制度に申し込んでいる場合）申込完了画面のコピー等受付番号がわかるもの

スカラネットURL <https://www.sas.jasso.go.jp/>
受付時間 8：00～25：00（最終締切日の受付時間は8：00～24：00）
※受付時間を過ぎると画面が強制終了します。余裕をもって入力できるよう、入力開始時間には注意してください。（入力時間の目安：30分～1時間）

1

【用紙①】スカラネット入力下書き用紙（大学院・法科大学院）

【スカラネット入力内容記入欄】
※インターネットで申し込む際は、「奨学金案内」31ページ「文字入力」を参照して文字を入力してください。

ログイン
あなたの識別番号（ユーザIDとパスワード）を入力して、下の「ログイン」ボタンを押してください。
①パスワード入力の際は全角・半角・大文字・小文字の区別をします。

ユーザID パスワード

大学から付与された識別番号を記入

確認書兼同意書の提出
あなた（あなたが未成年（18歳未満）の場合は、あなたと親権者または未成年後見人）は、「確認書兼同意書」に記載されている次の内容を確認・承認したうえで、署名した「確認書兼同意書」を提出し、貸与申込み条件等
・個人情報情報の取扱いに関する同意事項
※「個人情報情報の取扱いに関する同意事項」には、延滞するなどの個人情報が個人利用される場合があります。

提出前であっても便宜上提出しましたに☑

提出しました。

下の「規定等を表示」ボタンを押して規定等（保証委託約款を含む）を確認し、了承した場合のみ、申込を行ってください。
※規定等を確認するまで、次の画面に進むことはできません。

規定等を表示 了承します 次へ

申込選択
申込み奨学金（1）又は（2）を選択後、「次へ」ボタンを押してください。

1/1 定期採用（11名以内）
 現在在学している大学院での奨学金を申込みことができます。
※ 奨学金の種類、申込条件

○過去1年以内に生計を維持している人が失業、病産、倒産、病気、死亡（又は火災、風水害等により家計急変が生じた人）のみ申込みことができます。
学校で申込資格を確認してください。

1/8
Aー日本学生支援機構奨学金の案内
・第一種奨学金
無利子の奨学金で、特に優れた学生及び生徒で経済的理由により著しく修学困難な者に貸与します。
・第二種奨学金
利子付きの奨学金（在学中は無利子）で、第一種奨学金よりゆやかな基準によって選考された者に貸与します。

緊急採用・応急採用の申込みをする人は、緊急採用・応急採用の案内文が表示されます。

2

必ず記入
・氏名
・学籍番号(学生番号)

※研究科の専攻コードは不要

スカラネット入力後に発行される受付番号を記入

定期採用に☑

スカラネット入力下書き用紙

【用紙①】スカラネット入力下書き用紙 (大学院・法科大学院)

B-新約情報
 日本学生支援機構理事長 宛
 私は貴機構奨学金の申込みにあたり、学校に「[留学費申請書]」及び必要な証明書類を提出しました。
 奨学金に採用決定後は速やかに「返還誓約書」を提出し、貸付が終了した後は滞りなく返還すること
 及び以下の申込み記載事項については正しく記入することを誓約します。

誓約日(10日) 年 月 日 氏名(全角漢字) 氏名(全角カナ)
 生年月日(10日) (半角数字) 年 月 日 日生
 国籍 [日本国籍以外] の場合、在留資格を選択してください。
 ※国籍が「日本国籍以外」を選んだ人は、在留資格の証明書類を学校へ提出する必要があります。
 ※在留資格が永住者又は特別永住者の場合は、在留期間(満了日)の入力は不要です。

在留資格 [定住者] の場合、日本に永住する意思がありますか。 はい いいえ
 在留資格が「家族滞在」の場合、大学等を卒業後も日本国内で就労し、定着する意思がありますか。
 はい いいえ
 在留資格が「家族滞在」の場合、日本国内へ初めて入国した日について入力してください。
 日本国内へ初めて入国した日 西暦(4桁) 年 月 日
 日本国の小学校を卒業しましたか。 はい いいえ
 卒業した小学校名
 卒業した小学校の所在地(都道府県)
 日本国の中学校を卒業しましたか。 はい いいえ
 卒業した中学校名
 卒業した中学校の所在地(都道府県)
 日本国の高等学校を卒業しましたか。 はい いいえ
 卒業した高等学校名
 卒業した高等学校の所在地(都道府県)
 ※誓約日は以後訂正することができます。

C-奨学金申込情報
 1. あなたの希望する奨学金を1つ選択してください。
 (a). 第一種奨学金又は第二種奨学金のどちらかを希望する人のみ記入してください。
 (1) 第一種奨学金のみ希望します。
 (2) 第一種奨学金を希望するが、不採用の場合第二種奨学金を希望します。
 (3) 第二種奨学金のみ希望します。
 (b). 併用貸与を希望する人のみ記入してください。
 (4) 第一種奨学金及び第二種奨学金との併用貸与のみを希望します。
 (5) 併用貸与を希望するが、不採用の場合第一種奨学金のみ希望します。
 (6) 併用貸与不採用及び第一種奨学金不採用の場合、第二種奨学金を希望します。
 (7) 併用貸与不採用の場合、第二種奨学金のみ希望します。
 (c). 現在奨学金の貸与を受けている人のみ記入してください。
 (8) 第二種奨学金の貸与を受けていますが、第一種奨学金への変更を希望します。
 (9) 第一種奨学金の貸与を受けていますが、第二種奨学金への変更を希望します。
 (10) 第一種奨学金の貸与を受けていますが、併用貸与への変更を希望します。
 (11) 第二種奨学金の貸与を受けていますが、併用貸与への変更を希望します。
 (12) 第一種奨学金の貸与を受けていますが、併用貸与への変更を希望します。
 (13) 第一種奨学金の貸与を受けていますが、併用貸与への変更を希望します。
 (14) 第二種奨学金の貸与を受けていますが、併用貸与への変更を希望します。
 ※(12)は次番です。
 上記(8)・(9)・(10)・(11)・(13)・(14)を選択した人は奨学金番号を記入してください。
 奨学金番号 (半角数字) (例) 521 06 00000

誓約日はスカラネット入力日として
 ください。ここで入力した誓約日を
 署名し、返郵決定を行います。

「奨学金案内」31ページ「[文字入力]
 を参照しながら学生本人の本名を全
 角で入力してください。
 (例) 漢字氏名 姓 氏名
 カナ氏名 カナ 氏名

カナ氏名は、姓と名を区別する
 ために姓と名をそれぞれ「**漢
 字**」で入力し、姓と名を必ず併記し
 ながら入力してください。

生年月日の入力の際に、正しく成
 年判定を行うことができませんの
 で注意してください。

外国籍の人は「[奨学金案内]」7ペ
 ージの表の通り**在留資格に制
 限があります**。必ず在留資格を在
 留カード等で確認してください。

日本人の配偶者等、永住者の配偶
 者等、定住者及び家族滞在の人は、
 在留期間(満了日)を入力してくだ
 さい。在留資格が特定永住者又は
 永住者の場合は、在留期間(満了
 日)の入力は不要です。

「奨学金案内」24ページの解説内
 容をよく確認し、希望する1つを選
 択してください。

この申込みでもう一方の奨学金
 を申込みし、併用貸与の申請(第
 二種第一種へ、又は第一種第一
 種へ)を希望する予約採用者は、
 以下必ず入力してください。
 予約採用の奨学金番号が決定し
 ている場合
 (8) または (9) を選択し、下
 の奨学金番号欄に予約採用の奨
 学金番号を入力する。
 予約採用の奨学金番号が未決定
 の場合
 (10) の(1)又は(3)を選択し、
 別途「変更希望」であることを
 学校担当者へ申し出る。

【(10)・(11)を選択する人へ】
 第二種第一種・第二種どちらか一方
 を申込みし、併用貸与を希望する
 申込み、併用貸与を希望する場
 合は(10)又は(11)を選択してく
 ださい。
 予約採用の奨学金番号(624又は
 624から始まる奨学金番号)が未
 決定の場合、下の奨学金番号欄
 に入力不要。
 なお、併用貸与を受けるとは第
 一種奨学金の学力標準及び併用貸
 与の要件(「[奨学金案内]」9ペ
 ージ)を要することがあります。

【(13)・(14)を選択する人へ】
 希望する併用貸与への変更が不採用
 だった時に、**撤回貸与を希望して
 いる奨学金番号欄**に、**希望する併用貸
 与への変更を希望する場合は**、(13)又
 は(14)を選択してください。
 予約採用の奨学金番号が未決定
 の場合(10)の(1)又は(3)を選
 択し、別途「変更希望」であるこ
 とを学校担当者へ申し出る。

(8)・(9)・(13)・(14)を選択し
 た人は奨学金番号を必ず入力してく
 ださい。

3

【用紙①】スカラネット入力下書き用紙 (大学院・法科大学院)

D-あなたの在学情報
 1. 大学院
 (1) あなたの大学院名を確認してください。(1) × 大学院
 (2) あなたの学籍(学生証)番号を記入してください。(2) (半角英数字)
 (3) あなたの在学している課程を選択してください。(3)
 (4) あなたの在学している研究科を選択してください。(4)
 (5) あなたの在学している研究科の専攻のコードを記入してください。(5) (半角数字)
 (注) 専攻コードについては学校へ確認の後入力してください。
 (6) 年次を記入してください。(6) (半角数字)
 (7) 昼夜課程を選択してください。(7) 昼(昼夜間講義) 夜 通夜
 (8) あなたの入学年月月を記入してください。(8) 西暦(半角数字4桁) 年 月 日 入学
 (注) 入学年月(特に編入学生)は必ず学校へ確認の後入力してください。
 (9) あなたの修了(見込)予定年月を記入してください。(9) 西暦(半角数字4桁) 年 月 修了(見込) 予定
 (10) あなたの修業年数を記入してください。(10) (半角数字) 年 月 日
<入学・卒業予定年月見込表>

2024年4月現在 1年次			2024年4月現在 3年次		
修業年数	入学年月	修了予定年月	修業年数	入学年月	修了予定年月
2年	2024/4	2026/3	3年	2024/4	2026/3
3年	2024/4	2027/3	4年	2022/4	2026/3
4年	2024/4	2028/3	5年	2022/4	2027/3
5年	2024/4	2029/3			
2024年4月現在 2年次			2024年4月現在 4年次		
修業年数	入学年月	修了予定年月	修業年数	入学年月	修了予定年月
2年	2023/4	2025/3	4年	2021/4	2025/3
3年	2023/4	2026/3	5年	2021/4	2026/3
4年	2023/4	2027/3			
5年	2023/4	2028/3			
2024年4月現在 5年次					
修業年数	入学年月	修了予定年月			
5年	2020/4	2025/3			

E-奨学金貸与情報
 1. 第一種奨学金を希望する人は次のことをご確認ください。
 (1) あなたの希望する月額を1つ選択してください。(1)

修士課程	5万円	8万8千円
博士課程	8万円	12万2千円

 (2) あなたの希望する返還方式を選択してください。
 (注) 所得連動返還方式を希望する場合、保証制度は「機関保証」になります。
 所得連動返還方式 定額返還方式
 2. 第二種奨学金を希望する人は、返還
 方式を選択できます。「奨学金案内」
 12-13ページを確認のうえ、ご
 ちからを選択してください。

学生番号を正確に入力すること
 例: 24LM123A
 (アルファベットは大文字入力)

人文社会科学系研究科
 農学研究科 → 修士
 理工学研究科 → 博士前期
 (マスター)
 理工学研究科 → 博士後期
 (ドクター)
 教育学研究科 → 専門職学位

未入力とする

修士相当→2年0か月
 博士相当→3年0か月

3

第一種奨学金申請者記入

スカラネット入力下書き用紙

【用紙1】スカラネット入力下書き用紙 (大学院・法科大学院)

過去に大学院の同じ課程の区分で第一種奨学金を受けたことがある人は「はい」を選択してください。

過去に大学院の同じ課程の区分で第一種奨学金を受けたことがある人は「はい」を選択してください。

E-奨学金貸与履歴1-(3)で「はい」と答えた人に表示されます。

第一種奨学金の再貸与を希望する人は、再貸与の制度を確認し、同意する場合のみ、申込みを行ってください。

【注】制度等を確認するまで、次の画面に進むことはできません。

同意します 同意しません

(4) あなたは「大学院修士課程及び専門職学位課程進学予定者に係る特例による返還免除内定制度」に申込みましたが、

(3) はい いいえ

【大学院の課程の区分】

区分	左の区分に含まれる課程等
修士課程相当	修士課程、博士前期課程、専門職大学院課程(法科大学院相当)
博士課程相当	修士課程、博士前期課程、博士後、博士後・専門職学位課程(4年制・博士課程相当)として取扱い。

第一種奨学金の再貸与と制度とは？

過去に第一種奨学金の貸与を受けた人が、同じ学校区分(下表【大学院の区分】)に第一種奨学金の貸与を受けることができる制度です。【奨学金案内】を参照してください。

(3) 過去に大学院で第一種奨学金の貸与を受けたことがない人や、修士課程の貸与を受けていた人が博士後期課程にて第一種奨学金を希望する場合に該当しません。

2. 第二種奨学金を希望する人は次のことにご確認ください。

(1) あなたの希望する月額を1つ選択してください。

5万円 8万円 10万円 13万円 15万円

※貸与月額について確認してください。

あなたは、併用貸与を希望しています。併用貸与を受けると貸与総額がこの申込手続終了後、貸与月額が適切であるが再度確認してください。

なお、第二種奨学金の最高月額を選択した場合は、「家庭事情情報」とする「理由」をご記入いただくことになります。

ご記入いただいた「理由」については、学校担当者から連絡を行う場合があります。

はい いいえ

(注) 奨学生採用後は貸与期間の変更はできません。

(2) 西暦(半角数字4桁) 年 月

(1) あなたは入学時特別増額貸与奨学金を希望しますか。

1年次に入学した人および編入入学の人のみ希望することができます。

(2) 「はい」と答えた人は、希望する額を選択してください。

(2) 10万円 20万円 30万円 40万円 50万円

4. 第二種奨学金または入学時特別増額貸与奨学金を希望する人は教えてください。

(1) あなたの希望する利率の算定方法を選択してください。

(1) 利率固定方式 利率優遇方式

第一種奨学金申請者記入

第二種奨学金申請者記入

大学院の同じ課程区分で第一種奨学金を受けたことがある者のみ記入

例: 他大学の修士課程で第一種奨学金を受給し、本学の修士課程で第一種奨学金を申請する者は記入する

※学部学生時代に受けていた場合は記入対象外

2024年4月～2024年9月のいずれかの希望月を記入

入学時特別増額貸与奨学金は「いいえ」を☑

【用紙1】スカラネット入力下書き用紙 (大学院・法科大学院)

3/8 F-あなたの履歷情報

1. あなたの最終学歴を記入してください。

1. 西暦(半角数字4桁) 年 月 卒業または退学

直前に卒業又は退学した学校の年月及び学校を選択してください。

2. あなたはこれまで日本学生支援機構あるいは日本育英会の奨学金の貸与・給付を受けてことがありますか。

はい いいえ

「はい」と答えた人はその時の奨学生番号を記入してください。

※貸与・給付を受けた奨学金が複数ある場合は、「追加」ボタンを押して、すべての奨学生番号を記入してください。

※奨学生番号の記入を取り消す場合は、「削除」ボタンを押してください。

奨学生番号 1 半角数字 2 3 4 5

奨学生番号 1	611	04	999999	削除	追加
奨学生番号 2	618	08	999999	削除	追加
奨学生番号 3	800	01	999999	削除	追加
奨学生番号 4	814	02	999999	削除	追加
奨学生番号 5				削除	追加

※第二種奨学金の貸与について確認してください。

あなたは、これまで同一の学校区分で2回以上、第一種奨学金の貸与を受けています。日本学生支援機構の規程により、これ以上第二種奨学金を申し込むことができない場合や繰り返される期間が制限される場合があります。

はい いいえ

「はい」と答えた人は必ず奨学生番号を入力してください。この欄には貸与終了したもののみ入力してください。貸与中のものは、C-奨学金申込情報に入力してください。なお、採用取消となったものは入力しないでください。

F-あなたの履歷情報 2で「はい」と答えた人に表示されます。

奨学生番号が複数ある場合は「追加」ボタンを押してすべての奨学生番号を記入してください。

同一の学校区分で2回以上第二種奨学金の貸与を受けている人に表示されます。

希望する保証制度を選択してください。

4/8 G-保証制度

1. あなたが希望する保証制度を選択してください。

(1) 機関保証

※機関保証制度は、連帯保証人や保証人の選任が不要です(一定の保証料が毎月の奨学金から差し引かれます)。

制度の内容について承認し、機関保証を選択します。

(2) 人的保証

※人的保証制度は、連帯保証人や保証人に事前に了解をとっておく必要があります。

制度の内容について承認し、人的保証を選択します。

併願又は併用で申し込み(2/8画面にて、次の選択肢を選択した場合)。

(2) 第1希望: 第一種奨学金 第2希望: 第二種奨学金

(4) 第1希望: 第一種奨学金と第二種奨学金(併用)

(5) 第1希望: 第一種奨学金と第二種奨学金(併用) 第2希望: 第一種奨学金

(6) 第1希望: 第一種奨学金と第二種奨学金(併用) 第2希望: 第一種奨学金 第3希望: 第二種奨学金

(7) 第1希望: 第一種奨学金と第二種奨学金(併用) 第2希望: 第二種奨学金

かつ第一種奨学金の返還方法を「所得連動返還方式」と選択した場合

▼ 1. 第一種奨学金についてあなたが希望する保証制度を選択してください。

所得連動返還方式を希望する場合、保証制度は「機関保証」のみになります。「人的保証」は選択できません。

(1) 機関保証

※機関保証制度は、連帯保証人や保証人の選任が不要です(一定の保証料が毎月の奨学金から差し引かれます)。

制度の内容について承認し、機関保証を選択します。

2. 第二種奨学金についてあなたが希望する保証制度を選択してください。

(1) 機関保証

※機関保証制度は、連帯保証人や保証人の選任が不要です(一定の保証料が毎月の奨学金から差し引かれます)。

制度の内容について承認し、機関保証を選択します。

(2) 人的保証

※人的保証制度は、連帯保証人や保証人に事前に了解をとっておく必要があります。

制度の内容について承認し、人的保証を選択します。

3] ページ「C-奨学金申込情報」参照

チェックを入れないと次に進むことができません。

チェックを入れないと次に進むことができません。

最終学歴、卒業年月、日本学生支援機構の奨学金を受けたことがあるかなどを記入

保証制度を選択する

人的保証を選択する場合は連帯保証人・保証人の選任条件を確認し、必ず本人に同意を得てください。

機関保証を選択する場合は人的保証への変更はできません。

奨学金案内から保証制度を確認し、選択してください。(貸与奨学金案内P.17)

スカラネット入力下書き用紙

【用紙①】スカラネット入力下書き用紙（大学院・法科大学院）

5/8

H-貸与奨学金返還誓約書情報

1. あなた自身について入力してください。

(1) あなたのお名前△△ ○○さんですね。 (2) (性別) (3) 成年判定

(4) あなたの住民票に記載されている住所を記入してください。 (4) (郵便番号) (半角数字) (住所検索)

住所 1 (自動入力) _____

住所 2 (番地以降) (全角文字) _____

(5) あなたの電話番号を記入してください。

*自宅電話番号がなければ携帯電話の電話番号で構いません。

(5) (半角数字) _____

携帯電話の電話番号を記入してください。 (携帯) (半角数字) _____

G-保証制度で「(1)機関保証」を選んだ人

2. 本人以外の連絡先について

あなたは保証制度画面で「機関保証」を選択しています。あなた以外の連絡先について入力してください。

(1) その氏名 (1) 漢字 (全角漢字) 姓 名 _____

(1) 漢字 (全角漢字) _____

カナ (全角カナ) _____

(2) その生年月日 (2) (印刷) (半角数字) 年 月 日 生 _____

(3) あなたとの続柄 (3) _____

(4) その住所 (4) (郵便番号) (半角数字) _____ (住所検索)

住所 1 (自動入力) _____

住所 2 (番地以降) (全角文字) _____

(5) その電話番号 (5) (半角数字) _____

*自宅電話番号がなければ携帯電話の電話番号で構いません。

その携帯電話の電話番号 (携帯) (半角数字) _____

住所の入力例

(郵便番号) 162-9999 (住所検索) 押下

注意!

表示された住所一覧の中から、正しい住所を選択してください。

住所 1 (自動入力) ○東京都 新宿区 市谷本村町 1丁目
○東京都 新宿区 市谷本村町 2丁目
○東京都 新宿区 市谷本村町 3丁目

住所 2 (番地以降) 99-9 機構ハイソ 505

注意!

*番地以降を全て全角で入力してください (英数字やハイフン、スペースを含む)。入力欄れがある次の画面に進めません。

*番地以降のない住所は、住所 2欄に全角で「(ビルオド)」を入力してください。

*住所 2欄には、住所 1欄の表示部分を入力しないでください。上記の場合、住所 1欄で「1丁目」を選択し、住所 2欄に誤って「1丁目 99-9・・・」と入力した場合、届出内容は「1丁目1丁目 99-9・・・」となります。

*住所、電話番号に海外の住所等を入力することはできません。連絡の取れる国内の住所、電話番号の入力をしてください。

住民票に記載されている住所を記入 ※アパートの号室まで正確に記入

機関保証選択者 記入欄

【用紙①】スカラネット入力下書き用紙（大学院・法科大学院）

6/8

G-保証制度で「(2)人的保証」を選んだ人

3. 連帯保証人と保証人について

あなたは保証制度画面で「人的保証」を選択しています。連帯保証人及び保証人について入力してください。

(1) 連帯保証人について入力してください。

原則として、父母・兄弟姉妹又はおじ・おば等にしてください。

未成年者等保証能力がない人は認められません。

債務整理（破産等）中の人を連帯保証人に選任することは認められません。

(a) その氏名 (a) 漢字 (全角漢字) 姓 名 _____

カナ (全角カナ) _____

(b) その生年月日 (b) (印刷) (半角数字) 年 月 日 生 _____

(c) あなたとの続柄 (c) _____

(d) その住所 (d) (郵便番号) (半角数字) _____ (住所検索)

住所 1 (自動入力) _____

住所 2 (番地以降) (全角文字) _____

(e) その電話番号 (e) (半角数字) _____

*自宅電話番号がなければ携帯電話の電話番号で構いません。

その携帯電話の電話番号 (携帯) (半角数字) _____

(f) その勤務先 (f) (全角文字) _____

勤務先電話番号 (半角数字) _____

*保証人が無職の場合は、下記にチェックを入力してください。

(g) 無職 無職

(2) 保証人について入力してください。

原則として、4親等以内の血縁関係のうち、あなたより連帯保証人と別生計の65歳未満の人を選んでください。

未成年者等保証能力がない人は認められません。

債務整理（破産等）中の人を保証人に選任することは認められません。

(a) その氏名 (a) 漢字 (全角漢字) 姓 名 _____

カナ (全角カナ) _____

(b) その生年月日 (b) (印刷) (半角数字) 年 月 日 生 _____

(c) あなたとの続柄 (c) _____

(d) その住所 (d) (郵便番号) (半角数字) _____ (住所検索)

住所 1 (自動入力) _____

住所 2 (番地以降) (全角文字) _____

(e) その電話番号 (e) (半角数字) _____

*自宅電話番号がなければ携帯電話の電話番号で構いません。

その携帯電話の電話番号 (携帯) (半角数字) _____

(f) その勤務先 (f) (全角文字) _____

勤務先電話番号 (半角数字) _____

*保証人が無職の場合は、下記にチェックを入力してください。

(g) 無職 無職

(g) 連帯保証人と保証人は別生計です。 (g) はい いいえ

*連帯保証人、保証人に相応しい人物かどうか、入力情報を元に判定を行います。年齢による判定では、各人物の最初の日 (G-誓約書で入力した年月日) 時点での年齢を元に判定を行います。

人的保証選択者 記入欄

G-保証制度にて「(2)人的保証」を選択した場合に表示されます。連帯保証人・保証人の選任条件は「奨学金案内」18～20ページを必ず確認してください。

海外の住所を入力することはできません。連絡の取れる日本国内の住所を入力してください。 ※7ページの「住所の入力例」参照

自営業の場合は「自営業」、農業の場合は「農業」を入力してください。無職の場合は「その勤務先」には何も入力しないでください。

あなたからみた続柄です。(例) おじ、おば ※以下の場合も、「その他 (知人等)」と記入 (選択) してください。

- ・離婚により親権を失った父母
- ・養子縁組により親権を失った本人の養父母
- ・配偶者の父母 (「父 (母)」や「その他 (4親等以内)」を選択しないでください)

海外の住所を入力することはできません。連絡の取れる日本国内の住所を入力してください。 ※7ページの「住所の入力例」参照

自営業の場合は「自営業」、農業の場合は「農業」を入力してください。無職の場合は「その勤務先」には何も入力しないでください。

スカラネット入力下書き用紙

6/8 【用紙①】スカラネット入力下書き用紙 (大学院・法科大学院)

I-あなたの所得情報

1. あなたの収入について該当する項目を記入してください。

(1) 定職・アルバイトについて該当する項目を記入してください。

定職	勤務先 (全角)	職業 (全角)	収入金額 (年額・税込)		年見込 労働時間 (角数字)
			前年 (半角数字) 万円	本年見込 (半角数字) 万円	
1					
2					

アルバイト

アルバイト	勤務先 (全角)	職業 (全角)	収入金額 (年額・税込)		年見込 労働時間 (角数字)
			前年 (半角数字) 万円	本年見込 (半角数字) 万円	
1					
2					
3					

父母等からの給付額 (年額・税込) _____ 万円 _____ 万円

奨学金 (現在申込中のものは除く) (年額・税込) _____ 万円 _____ 万円

その他の収入 (内容) (全角20文字以内) (年額・税込) _____ 万円 _____ 万円

(2) 定職又は週21時間以上のアルバイトに従事している人のみ記入してください。

(a) 退職・休職もしくはアルバイトの週当たり就労時間を21時間未満に減少する意がありますが、
(a) あります ありません

(b) 「あります」と答えた人はその予定時間を記入してください。
(b) 西暦 (4桁) _____ 年 _____ 月 _____ 日

(3) 配偶者のいる人はその氏名及び年齢を記入してください。
(3) 氏名 姓 _____ 名 _____ 年齢 _____ 歳

(4) 配偶者の収入状況 (定職収入のみ) を記入してください。

配偶者の氏名	勤務先 (全角)	職業 (全角)	収入金額 (年額・税込)	
			前年 (半角数字) 万円	本年見込 (半角数字) 万円

2. あなたの特記情報について記入してください。

災害・震災に被災したことがある人で、被災した災害・震災が選択肢の中に含まれている場合は該当のものを選択してください。

9

別紙 収入計算書と金額が一致していることを確認

7/8 【用紙①】スカラネット入力下書き用紙 (大学院・法科大学院)

J-あなたの研究情報

1. あなたの研究題目 (研究分野) を記入してください。(全角50字以内) (25×2)

2. あなたの大学院進学の目的と研究計画を記入してください。(全角400字以内) (25×16)

3. あなたのこれまでの研究内容 (提出論文・紀要・学術雑誌等の発表論文等) について記入してください。ただし、修士・博士前期課程1年および博士後・専・薬・獣医学課程1年は記入の必要がありません。(全角400字以内) (25×16)

K-家庭事情情報

1. 奨学金を希望するに至った家庭事情や、特に説明を要することを記入してください。(全角200字以内) (25×8)

9

200文字以上は記入

200文字以上は記入

100文字以上記入

下記の学生は記入
修士課程2年次
博士前期課程2年次
専門職学位課程の2年次
博士後期課程

スカラネット入力下書き用紙

【用紙①】スカラネット入力下書き用紙（大学院・法科大学院）

注意！口座情報に間違いがあると、奨学金の初回振込が大幅に遅れることがあります。
 奨学金を継続して受けるためには、スカラネット・パーソナルへの登録が必須であり、登録には振込口座情報が必要です。通帳などのコピーを本紙に貼付しておくことをお勧めします。

奨学金を受け取れる口座は、下記6点の確認が必要です

①	あなた本人の預・貯金口座ですか（あなた本人以外の口座は使用できません）
②	銀行等の普通預金または、ゆうちょ銀行の通常貯金口座ですか。
③	誓約欄のカナ氏名と通帳などの口座名義人（カナ）が同じですか。
④	金融機関名および口座番号と支店名（ゆうちょ銀行以外の場合）、または記号と番号（ゆうちょ銀行の場合）は正しいですか。※1
⑤	この通帳は、1年以内に記帳できましたか。（=休眠口座になっていない）
⑥	信託銀行、農協、外資系銀行、新生銀行、あおぞら銀行、ネットバンク、コンビニ銀行等は、振込みできません。※2

※1 3か月以内に新設の支店は選択できない場合があります。
 ※2 一部の信用組合は、振込みできません。

振込先指定口座は【本人名義】のみ！！
 ※本人名義以外の口座は振込できません

口座情報がわかる通帳・キャッシュカード等のコピーを貼りつける

振込先口座情報を記入

貼付付け「通帳などの口座名義人及び口座情報が記載されている」

お名前（カナ）
 ジョウヨウ タロウ
 金融機関コード（銀行コード）
 0130
 店番（支店コード）/店名
 006 土浦
 預金種目/口座番号
 普通預金 1234567

常陽銀行の口座番号となります。通帳の表紙のコピーが必要な場合は、適宜本書印刷の上ご利用ください。

常陽 太郎 様
 店番 006 口座番号 1234567

常陽銀行

この番号では振込みできません
 この口座を金融機関からの振込の受取口座として使用する場合は、この口座内容を指定ください。
 【店名】一九八（読み、イチキョウカク）
 【店番】198 【預金種目】普通預金 【口座番号】0123456

記入内容を点検しましょう！

- 氏名は本名で記入しましたか？
- 住所・電話番号を間違いなく正確に記入しましたか？
- 収入・所得金額について、該当する欄に該当する数字を記入できていますか？
- 口座番号を正確に記入しましたか？（誤りがあると振込みできません）

重要
 入力完了後に表示される受付番号を下書き用紙の11ページに記入してください。

11

【用紙②】スカラネット入力下書き用紙（大学院・法科大学院）

緊急・応急採用情報

1. 家計急変の事由を1つ選択してください。

注) (5)～(8)、(10)～(12) まで各事由により著しく支出が増大または収入が減少したものを。
 (15) は生計維持者からの補助を受けずに、本人収入のみで就学している場合のみ。

(1) 生計維持者が会社の倒産等により解雇または早期退職したため。
 (2) 生計維持者が死亡したため。
 (3) 生計維持者が離別したため。
 (4) 生計維持者が破産したため。
 (5) 病気
 (6) 事故
 (7) 会社倒産
 (8) 経営不振
 (9) その他上記以外の事由により給与収入が減少した場合選択してください。
 (10) 火災
 (11) 風水害
 (12) 震災
 (13) 災害救助法適用等
 (14) 学校廃止
 (15) 本人の収入減少

2. 家計急変の事由を2つ選択してください。

3. 緊急採用（第一種）奨学金の希望する期を記入してください。
 2. 西暦（年）月 年 月
 3. 西暦（半角数字4桁） 年 月 月

4. 家計基準該当事由を選択してください。

(1) 今後1年間の所得金額が収入基準額以下になるため。
 (2) 年間の支出金額が著しく増大又は収入金額が著しく減少したため。
 (年間の支出金額が著しく増加した人はA欄を記入してください。)
 (3) その他上記以外の家計急変により就学継続が困難のため。

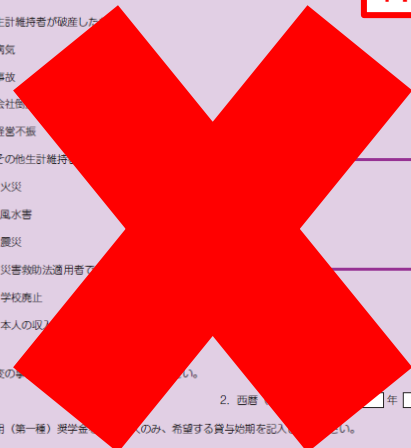
A. これまでに特別に支出した額、またこれから特別に支出が見込まれる額を記入してください。
 (家屋・家財復興費、医療費等)

事由 金額
 (例：台風による家屋の損壊)
 これまでに 万円
 これから 万円
 全角10文字以内

※例えば、家計急変が2022年5月、申込が2022年8月の場合は以下の通り入力してください。

入力項目	該当期間	例
これまでに特別に支出した額	家計急変時～申込時点までに支出した額	2022年5月～2022年8月
これから特別に支出が見込まれる額	申込以降～家計急変から数えて12か月後までに支出が見込まれる額	2022年9月～2023年4月

12



P.12は記入不要

休眠口座・貯蓄口座不可！

振込できない金融機関

信託銀行	農協
外資系銀行	ネットバンク
コンビニ銀行	新生銀行
あおぞら銀行	一部の信用金庫

収入計算書

このページは
全員記入必須

【用紙②】収入計算書

前年用 (表)

収入計算書 [前年 (2023年1月～12月) 用]

私は、日本学生支援機構の奨学金を申し込むにあたり、収入に関する状況は以下のとおりであることを報告します。また、この収入計算書に基づき奨学金の申込み（「スカラネット」への入力）を行います。

○学校名 _____ 大学 _____ 研究科 _____

○課程（該当の数字に○）：

1. 修士・博士前期課程
2. 一貫制博士
3. 博士後期課程
4. 法科大学院
5. 専門職大学院課程（法科大学院を除く）
6. 博士医・歯・薬（4年制）・獣医学課程

○申込者氏名 _____

○学籍番号 _____

【各項目1万円未満切り捨て】

前年 (2023年1月～12月) の収入額		【証明書類必要】	
収入項目	収入額 (A)		
定職 (○)	定職1 (本人) (年額) 万円		
	定職2 (本人) (年額) 万円		
	定職 (配偶者) (年額) 万円 [該当者のみ]		
アルバイト (○)	アルバイト1 (年額) 万円		
	アルバイト2 (年額) 万円		
	アルバイト3 (年額) 万円		
父母等からの給付額 (★) (年額) 万円			
奨学金 (年額) 万円			
その他の収入 (親子・配偶・不動産・年金等の公的手当・預貯金の取崩等) (年額) 万円			
ア 収入額合計 (年額) 万円			

1万円未満は切り捨て
万単位で記入すること

記入した金額が源泉徴収票や給与支払（見込）証明書等の証明書と金額が一致していること

仕送や授業料など父母からの負担が該当。裏面の記入が必要

受給期間・金額が確認できる書類を証明書として提出
※JASSO受給者はスカラネットパーソナルの画面印刷でも可

貯金の切り崩しなど

この収入計算書に記入した内容に基づき、前年と本年見込（前年に対して変動が見込まれる場合に限り）の収入金額をスカラネットに入力してください。
必要となる証明書類は裏面に添付してください。 [裏面につづく]

前年用 (表) ①

【用紙②】収入計算書

本用紙は、「A3 サイズ1枚」により構成されています。
「奨学金案内」冊子、「用紙①」及び「用紙③」より外してご利用ください。

本年見込用 (表)

変動ある場合のみ

収入計算書 [本年見込 (2024年1月～12月) 用]

私は、日本学生支援機構の奨学金を申し込むにあたり、収入に関する状況は以下のとおりであることを報告します。また、この収入計算書に基づき奨学金の申込み（「スカラネット」への入力）を行います。

【収入の状況】（以下の該当する方に、「○」を付けてください。）

<input type="checkbox"/>	本年見込の収入については、前年の収入金額に対して、変動はありません。
<input type="checkbox"/>	本年見込の収入については、前年の収入金額に対して、変動しますので、以下のとおり報告します。

このページは記入

両ページの各項目
同じ項目も同じ金額

該当する方に○を付ける
変動なし→前年の収入を記入
変動あり→前年度本年見込を記入

【各項目1万円未満切り捨て】

本年 (2024年1月～12月) の収入見込額		【証明書類必要】	
収入項目	収入額 (B)		
定職 (○)	定職1 (本人) (年額) 万円		
	定職2 (本人) (年額) 万円		
	定職 (配偶者) (年額) 万円 [該当者のみ]		
アルバイト (○)	アルバイト1 (年額) 万円		
	アルバイト2 (年額) 万円		
	アルバイト3 (年額) 万円		
父母等からの給付額 (★) (年額) 万円			
奨学金 (申込中の奨学金は除く) (年額) 万円			
その他の収入 (親子・配偶・不動産・年金等の公的手当・預貯金の取崩等) (年額) 万円			
イ 収入見込合計 (年額) 万円			

変動したとは、別の勤務先が変わったり、アルバイトの数が変更になった場合などを指します。
収入の若干のゆらぎについては変動に含みません。

【仕事が多数あるため記入欄が不足する場合】
定職は1に記入後、2に残りの合計額を記入してください。アルバイトは1・2に記入後、3に残りの合計額を記入してください。
※証明書類は全て提出。

★計上する場合、可能な限り記入し、給付者の名義が

本年見込の奨学金には次のものは含めません。
・現在申請中の奨学金

他団体の奨学金も含みます。

【重要】

収入額合計は、0万円とらないよう記入してください。

⚠ 本年収入見込額を「0円」とすると、前年の収入額合計で審査されます。

必要となる証明書類は裏面に添付してください。 [裏面につづく]

本年見込用 (表) ②

